

奏功事例集

じゅうたくとうかさいかいほうき
住宅用火災警報器



※すべて掲載

しゅうしんちゆう きょじゅうしゃ けいほうおん めざ ひなん
就寝中に居住者が警報音で目覚めて避難した

- ⬇ 朝5時頃警報音に気付いた。1階居間のストーブ付近が燃えていたため家族を避難させ119番通報した。(事例7)
- ⬇ ガスコンロに鍋をかけたまま就寝したため、内容物が焦げて台所の感知器が作動した。共同住宅の隣人が警報音と焦げ臭さに気付いて119番通報した。早期発見であったため被害はなかった。(事例13)
- ⬇ 自宅2階で就寝中に警報音で目が覚めた。1階が煙で充満していたため家族とともに屋外へ避難した。家は全焼したが命と家族は守れた。(事例16)
- ⬇ 建物所有者が2階で就寝中、階段踊り場設置の住宅用火災警報器の鳴動に目が覚めた。台所からの出火にバケツの水で消火を試みるが、困難と判断し避難した。

だいどころ けいほうおん かさい き だいじ いた
台所の警報音で火災に気づき大事に至らなかった

- ⬇ 台所の警報音が鳴りガスコンロで魚を焼いていたことに気づき水をかけて消そうとしたが火を消せなかったので119番通報した。被害はなかった。(事例1)
- ⬇ 居間で食事中に台所の警報音に気づいた。台所が煙で充満していたのでガスコンロの火を消し部屋の窓を開けてから119番通報した。実害はなかった。(事例3)
- ⬇ ガスコンロにかけた鍋が空焚きとなり台所の感知器が作動したため契約していた警備会社から119番通報。2階の居室で休んでいたが警報音には気づいていなかった。実害なし(事例4)
- ⬇ ガスコンロに火をつけたまま外出した。2階で休んでいた家人が警報音に気づくと

台所の周辺に炎が広がっていたため隣人に119番通報を依頼した。台所を焼失したが、人的被害はなかった。(事例5)

- ❖ 家人がガスコンロに鍋をかけたまま隣の部屋でテレビを観ていた。台所の警報音に気づくと鍋から煙が出ていたのでガスコンロの火を消した。(事例6)
- ❖ オープンストーブの内容物が焦げて台所に煙が充満し警報器が作動した。オープンストーブの電源を切り119番した。(事例8)
- ❖ 隣人が警報音に気づき、1階からの煙を確認したため建物内に侵入しガスコンロの火を消し119番通報した。家人はガスコンロを消し忘れ外出していた。(事例9)
- ❖ 来訪者が警報音に気づき、119番通報した。家人はガスコンロ魚焼きグリルを消し忘れ外出していた。(事例11)

警報音に気づき初期消火に成功した

- ❖ 天井と軒先からの煙を台所の感知器が作動したため火災に気づき外へ避難した。119番通報してから水をかけ消火した。(事例2)
- ❖ 居間の警報音に気付いた居住者は薪ストーブ周囲が燃えているのを発見し初期消火を行うとともに119番通報した。(事例10)
- ❖ 警報音に気づいた家人が仏壇の造花や仏具が燃えているのを発見し初期消火した。(事例15)
- ❖ 調理中、約30分ほどその場を離れたところ、煙が充満して居室に設置していた住宅用火災警報器が鳴動したため、フライパンのかけ忘れに気づいた。ガスコンロの火を消し部屋の換気を行なった後、119番通報した。フライパンの内容物が焦げただけですんだ。

高齢者が隣人に助けを求めたため早い対応ができた

- ❖ 居住者が2階階段の踊り場の警報音に気づくと2階が煙で充満していた。隣人に119番通報を依頼した。たばこの火の不始末が原因のぼや火災ですんだ。(事例14)